



りんどう

第34号
2019年5月発行
熊本県女性薬剤師会
<http://kumajyo.jimdo.com/>

題字: 水民婦而子先生

メタセコイア

熊本県女性薬剤師会 会長 永吉ハルカ

職場に通うには片道2時間半かかる。ほぼ20年前、話だけでも聞いてほしいと知人から電話があり、一度、訪問することとなった。その職場に着いて、すぐ目に入ったのが一本の木だった。これは・・・メタセコイアではないか！

米国のカルフォルニア州にはヨセミテ公園と続いてセコイア公園がある。そこには天を突くようなジャイアントセコイアの木が森をなしている。50年ほど前、その地で、初めてキャンプをした。小さい TENT を買うのが精いっぱい、夜中に発泡スチロールの中の牛乳を小熊に吞まれてしまい、襲われなかった安堵より、牛乳が駄目になった悔しさがこみ上げたことをフツツと思いだした。そして不思議なことに“此処に来よう”“ここで働こう”と、心が動いたのである。

1800年代のアメリカはゴールドラッシュに西部開発が進んだ。樹齢3000年の巨木が林立する中このセコイアの森の保存運動がおこり、州立公園となり国立公園となり1984年には世界遺産となっている。歳月がたち、2年前に再度ヨセミテ公園を訪れる機会に恵まれた。整備はすすんでいるようであるが、降雨に恵まれないせいか立ち枯れの木も多く雄大さのなかにも地球環境の変化を感じたことであった。

私の勤務先では病院が建て替わり、メタセコイアが無くなって残念に思っていたら、違う場所に2本植えられている。その木の説明文には「メタセコイアは300万年前の化石として日本各地から発掘されていたが1941年に中国で生きているものが確認された。太古よりほとんど進化していないことから「生きた化石」とされている。スギの仲間である」と記入してある。熊本市立田山の五高の森・天草市の亀川公園でも観ることが出来る。



皆様、今年も日女生涯学習通信教育を頑張りましょう！ どうぞよろしくお願ひいたします。

中田洋子先生
日薬有功賞受賞
おめでとうございます

木下 圭子先生
熊本県知事表彰
おめでとうございます

西田 典子先生
文部科学大臣表彰
おめでとうございます

平成30年度熊本県男女共同参画フォーラムに参加して

うえき町薬局 渡邊正代

日時：平成31年2月9日（土）13:30～16:30 場所：熊本県立大学 中ホール

●特別講演「人生100年時代をどう生きるか」

講師：島田 宗洋氏（救世軍清瀬病院名誉院長 獨協医科大学特任教授）

●パネルディスカッションテーマ：「人生100年時代をどう生きどう支えるか」

パネリスト	特別講演講師	島田 宗洋氏	（救世軍清瀬病院名誉院長 獨協医科大学特任教授）
	介護者の立場から	米満 淑恵氏	（社会福祉法人 寿量会 理事長）
	行政の立場から	唐戸 直樹氏	（熊本県健康福祉部長寿社会局高齢者支援課長）
	職を考える立場から	西村まり子氏	（熊本県女性の社会参画加速化会議副会長）
コーディネーター		潮谷 義子氏	（社会福祉法人 慈愛園理事長）

主題はリビングウィル＝命の遺言でした。

人はいつかは死を迎える、それが尊厳死、安楽死、平穏死、突然死、事故死といろいろあるが、この死も生の一連と考えることで、死を迎えるということはどう生きるかと同じである。医療の進歩とともに多数の管理医療下での命が生かされている、その中で脳死状態、延命治療、苦痛緩和での生を考える時、自分はどの生を選ぶか？を問われる。延命の種類も様々であり輸血、人工呼吸、人工栄養補給等どこまでを望むのか？家族はどう思うのか？何を願うのか？どうしてほしいのかを考える講演でした。私自身も年金を受け取る年になりましたが人生100年時代を迎えて蓄えは十分なのか？今後必要となるであろう医療・介護・行政のことを理解しておく必要があるのではないかと。ちょっと立ち止まって考えてみよう、家族と話し合ってみよう。そして伝えておかなければ、、、やがて迎える最後の「生」その時までをどのように生きていくか？を改めて考える良い機会になりました。

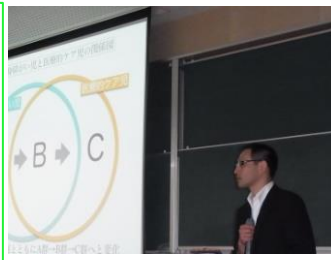
**研修会を開催しました 参加者による報告を
熊本県女性薬剤師会ホームページに掲載しています**
日時：平成30年11月11日（日）
場所：熊本大学薬学部 総合研究棟2F 多目的ホール
講演①10:00～11:10「小児の在宅医療」
熊本大学医学部附属病院 小児在宅医療支援センター
特任講師 小篠史郎 先生

講演②11:20～12:30
「脳血管障害、くも膜下出血を中心に」
熊本大学医学部附属病院 脳神経外科 河野隆幸 先生
情報提供12:40～13:20「イーケブラについて」
大塚製薬株式会社 小河 真 氏

講演③ 13:30～15:00「肥満を伴う糖尿病の統合的管理」
熊本大学医学部附属病院 代謝内科 瀬ノ口隆文 先生

日時：平成31年2月16日 土曜日
場所：熊本大学薬学部 宮本記念館
情報提供：15:30～16:00

「インチュニブ錠について」 塩野義製薬株式会社
医薬事業本部(中枢神経領域) 笹川 圭将 氏
講演：16:00～18:00
「子どもの育ちと心理理解について
～愛着や虐待、発達障がい等の問題とその症状～」
九州ルーテル学院大学人文学部人文学科
こども専攻児童教育コース教授 緒方宏明 先生



熊本県女性薬剤師会
ホームページ
<https://kumajyo.jimdo.com/>



**バザーを開催しました
ご協力ありがとうございました
熊本大学薬学部「薬草パーク」
に寄付させていただきました**

**熊本大学薬学部
薬草パーク観察会**
日時：2019年5月18日（土）
13:00～16:00
場所：熊本大学薬学部
総合研究棟2F
多目的ホール
参加費・申し込み不要



薬用植物メモ

アケビ（木通）

学名：アケビ科 (Lardizabalaceae) *Akebia quinata* Decne.
生薬名：木通（もくつう）局方一つる性の茎
成分：サポニン（akeboside類）
薬用：茎は消炎、利尿、清熱、通経作用などがあり、膀胱炎、
排尿障害、浮腫、尿道炎、月経不順などに用いる。竜胆瀉肝湯、
五淋散、通導散などの漢方処方に配合される。
その他：山地でよく見られる蔓性木本。種子を包む胎座は甘く、子供
のおやつとして親しまれた。果肉を抜いた果実の中にひき肉を詰めて調理
したものは「アケビの肉詰め」として知られる。つる状の若芽はゆでて
ゴマ和えにして食べられる。蔓は強靱であり籠などの細工に用いられる。
近縁のミツバアケビも同様に薬用、食用である。

2019年4月から名称変更になりました

熊本大学大学院生命科学研究部附属
グローバル天然物科学研究センター薬用植物園 渡邊 将人



アケビの花と葉



ミツバアケビの
果実と葉

平成31年度日本女性薬剤師会薬剤師継続学習通信教育講座のご案内

男女を問わず薬剤師の自己研鑽への支援として薬剤師継続学習通信教育講座を開講します

スケジュール

- 第1回逆流性食道炎 ー 自覚症状の確認ー
- 第2回手の痛みとしびれ ー 変形と痛みー
- 第3回適応障害 ー つらい毎日と我慢と日々ー
- 第4回医薬品の販売制度とセルフメディケーション推進
- 第5回胆管がんー黄疸に始まる手強い症状ー
- 第6回シニア(高齢者)の薬物療法の悩みに応える ー 食事、排泄、睡眠からACPまでー
- 第7回こどもの皮膚炎 ー あせも(汗疹)・おむつかぶれ・カンジダ皮膚炎・とびひ・水いぼ・虫さされ・汗疱 などー
- 第8回抗血栓療法(抗凝固薬・抗血小板薬) ー 検査結果を確認しながら読み解くー

受講期間 平成31年4月～令和2年3月
学習内容
①送付される8冊のテキストに基づいて学習
②1冊の学習後、演習問題に解答し郵送（添削後返送）
③スクーリング講座への出席（年1回、7月21日開講予定）

認定薬剤師研修単位 日本女性薬剤師会15単位
（日本薬剤師研修センターの認定申請に
更新15単位まで、新規20単位まで使えます）

受講料 1万6千円（1年分）
振込先 ゆうちょ銀行
記号17190 番号16418591
熊本県女性薬剤師会

申し込み方法

氏名・薬剤師免許証番号・住所(テキスト送付先)・電話・FAX・メールアドレス・受講経歴を下記永吉まで
問い合わせ／連絡先:永吉 電話096-366-1987・090-8288-4705 FAX 096-366-1987 メールeikitiharuka@gmail.com